

研究課題名：

離島地域における生活行動と施設利用実態にみる居住環境満足度の要因



2013/2/20 宮原 未由季

地方における問題

- ・人口減少、高齢化、過疎化
- ・漁獲量の低下
- ・就業問題

離島地域では地形的特徴から、
多くの問題を抱えている。

昭和28年以降、離島振興関連四法により施策が行われてきた



根本的な解決には繋がっていないのが現状

大分県 姫島村

多数の離島が市町村合併を行うなか、
一島一村として存続している。

島民の居住環境に対する高い満足度(2009年)

諸問題解決の糸口として、高い満足度
の要因を探ることが重要であると考える。



- ・島民の居住環境に対する高い満足度(2009年)
- ・空間的特性(施設面積、件数)や島民同士のつながりが満足度の高さに起因(2011年)

島内施設の利用実態(利用目的や利用圏域)
から、満足度の要因を明らかにする。

研究の背景・目的、既往研究における位置づけ(第1章)



生活行動調査(第2章)

定量

- ・施設利用圏域
- ・施設利用頻度

定性

- ・利用施設と活動内容
- ・施設利用の目的・機能の重複傾向

居住環境満足度
アンケート(第3章)

生活の中で利用されている機能(もの、場所、施設、交流等)や利用の頻度、距離の傾向を明らかにする。



島民の施設利用目的や利用圏域等の生活実態把握。**姫島村の居住生活満足度の要因を施設利用距離、行動回数から明らかにする。(第4章)**

研究の背景・目的、既往研究における位置づけ(第1章)



生活行動調査(第2章)

定量

- ・施設利用圏域
- ・施設利用頻度

定性

- ・利用施設と活動内容
- ・施設利用の目的・機能の重複傾向

居住環境満足度
アンケート(第3章)

生活の中で利用されている機能(もの、場所、施設、交流等)や利用の頻度、距離の傾向を明らかにする。



島民の施設利用目的や利用圏域等の生活実態把握。姫島村の居住生活満足度の要因を施設利用距離、行動回数から明らかにする。(第4章)

- 調査内容:
- ・生活行動調査(ヒアリング調査)の実施
 - 1.ふだんの1日の生活の流れ
 - 2.定期的に利用する施設
(利用経路、頻度、手段)
 - ・居住環境満足度アンケート(全25項目)の実施

調査日:村の特別な行事がない日

2012年 7月7日(金)、8日(土)

7月27日(金)

8月4日(土)、9日(木)

9月2日(日) 5日間

天候:晴れ

ヒアリング対象属性の抽出

年齢・就労業種、居住区(全6行政区)の属性から、島民の推計人口割合を算出。

各産業比が卓越している区からサンプリングの条件を設定し、属性を決定。

表1 本年度ヒアリング対象者属性

行政区	1区				2区			3区		
業種	漁業	漁業	無職	無職	公務	無職	無職	無職	無職	無職
年代	50代	60代	60代	70代	50代	60代	70代	60代	70代	80代
人口割合	1.7%	1.5%	2.0%	2.5%	1.5%	2.1%	2.1%	3.7%	2.0%	2.0%
行政区	4区							5区	6区	
業種	漁業	漁業	公務	建設業	無職	無職	無職	漁業	漁業	漁業
年代	50代	60代	50代	50代	60代	70代	80代	50代	50代	60代
人口割合	1.3%	2.1%	1.4%	1.1%	3.4%	3.0%	0.6%	1.1%	2.5%	1.0%

1: 小笠原義勝による都市分類の方法

国土地理院で用いられた分類で、第一に都市別に産業別人口構成比を算出し、産業別人口構成比ごとに都市数の頻度を求め、次に中央値から前後の都市数の1/3が含まれる数値区間を産業別に求め、いずれの産業についてもそれらの区間内に含まれる都市を標準都市とし・・・(都市計画p79より抜粋)

生活行動調査で観測されたこと

行動分類		観測された行動内容
社会行動		雑談
		送迎
		食事会
		デイサービス
		高齢者教室
		実家訪問
		婦人会活動
		食事会
		子供に会う
		生活行動
買い物(買回り品)		
銀行利用		
通院		
有償行動	漁	
	網修理	
	出勤	
	農作物の出荷	
	商品の搬入	
無償行動	漁	
	田畑作業	
任意行動		散歩
		趣味活動
		観光(温泉・食事・ドライブ)
		レジャー施設
		パチンコ

行動分類の定義

社会行動 = 2人以上の行動として、コミュニケーション行為を発生させる行動。

生活行動 = 日常生活のために必要な行動。

有償労働 = 収入を目的とする仕事(通勤を含む)。

無償労働 = 家事、育児、ボランティア活動など
収入を目的としない仕事。

必需行動 = 個体を維持向上させるために行う必要不可欠性の高い行動(睡眠、食事、身の回りの用事、療養、静養からなる)

任意行動 = 娯楽など個人が任意で行う行動。

島外	合計		平均距離(m)	
	行動回数(件)	行動割合(%)		
-	-	12	6.49	282
-	-	2	1.30	398
-	-	6	3.90	542
-	-	1	0.65	605
-	-	1	0.65	565
-	-	1	0.65	634
-	-	1	0.65	492
2	1.30	2	1.30	-
8	5.19	8	5.19	-
0	6.49	32	20.78	503
-	-	16	0.39	1377
21	13.64	21	3.64	-
-	-	2	1.30	1731
1	7.14	24	5.58	1665
-	-	7	4.55	219
-	-	1	0.65	400
-	-	7	4.55	405
-	-	1	0.65	3508
-	-	2	1.30	676
-	-	2	1.30	351
-	-	11	7.14	440
22	20.78	94	1.04	1077
-	-	7	4.55	2267
-	-	3	1.95	517
5	9.74	15	9.74	-
1	0.65	1	0.65	-
2	1.30	2	1.30	-
8	11.64	28	8.18	1392
30	38.96	156	100%	991
60		156		
38.96		100%		
-		991		

【参考文献】

- ・騎楼街区における屋外空間の利用実態とコミュニケーションの形成について
- 中国広州市の騎楼街区における住居環境に関する研究- 陳聡】
- ・総務省 平成18年社会生活基本調査 生活行動に関する結果
- ・2010年国民生活時間調査 報告書 NHK放送文化研究所 世論調査部

島内行動で利用された施設

行動分類	詳細分析	利用目的	建物用途													島外		合計		平均距離 (m)	
			住宅			公共施設			商業施設		業務施設			その他		行動回数 (件)	行動割合 (%)	行動回数 (件)	行動割合 (%)		
			知人宅	保育園	老人ホーム	離島センター	銀行	診療所	公民館・工房	商店	飲食店	港	職場	フェリー乗り場	田畑	散歩利用道路					
			住宅						商業施設												
			知人宅						商店 飲食店												
			公共施設						業務施設												
			保育園 老人ホーム 離島センター 銀行 診療所 公民館・工房						港 職場 フェリー乗り場 田畑												
社会行動	雑談 送迎 食事会 デイサービス 高齢者教室 実家訪問 婦人会活動 食事会 子供に会う																				
生活行動	買い物(日用品) 買い物(買回り) 銀行利用 通院 漁 網修理																				
任意行動	散歩 趣味活動 観光(温泉・食事) レジャー施設 パチンコ																				
合計			32	20.78	94	1.04	35	60	38.96	156	100%	22									



行動の軌跡



島民の生活実態の定量的な把握を行ったうえで、
施設利用の距離と
居住環境に対する満足度の関係性をみる。

図.島内行動の軌跡

- ・利用施設によって、島民の行動圏域が大きく異なる
- ・島内にひとつしかない施設も多数あり、距離に関係なく利用されていることから、生活に欠かせない施設であるといえる。

主成分得点(アンケート)と施設利用距離(生活行動調査)との相関性

主成分分類	アンケート項目		知人宅利用距離		業務施設利用距離		公共施設利用距離		商業施設利用距離	
			主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関
第1軸(生活環境)	2)	家賃、固定資産税など	0.460	—	—	0.000	—	0.173	—	0.209
	20)	職場までの近さ、数	—	0.278	—	0.144	—	0.219	—	0.121
	6)	周囲の静けさ	—	—	—	0.045	—	0.175	—	0.134
		災害時の安全性	0.045	—	0.048	-0.274	—	0.183	—	0.180
	4)	公園や散歩コースの近さ、数	0.083	—	—	0.045	—	0.175	—	0.134
	10)	娯楽環境	—	-0.236	—	0.293	—	0.280	—	0.178
	12)	上水道の整備状況	—	—	—	-0.079	—	0.107	—	0.105
	8)	町並み、家並み	0.481	—	—	-0.251	—	0.285	—	0.397
第2軸(空間利用、基盤整備)	11)	道路の安全性、整備状況	—	-0.858	—	0.007	—	0.153	—	0.241
	5)	建物の立て込み具合	0.202	0.292	-0.207	-0.799	0.077	0.348	0.236	0.248
	1)	部屋の広さ、間取り	—	0.278	—	-0.048	—	0.299	—	0.334
	17)	公民館の利用	—	0.278	—	0.033	—	0.337	—	0.329
第3軸(人とのつながり)	9)	水辺環境や緑の豊かさ	—	0.179	—	0.109	—	0.164	—	0.037
	16)	村内の治安や風紀	—	0.253	—	0.138	—	0.063	—	-0.023
	13)	ケーブルテレビなどの情報基盤整備	0.393	-0.303	0.048	0.026	0.084	0.164	0.172	0.226
	7)	地域内の連携、助け合い	—	0.566	—	-0.452	—	0.000	—	0.243
第4軸(都市的生活志向)	24)	姫島村の他地域との交流	—	0.460	—	-0.320	—	0.267	—	0.268
	18)	買い物をする場所の近さ、数	—	0.593	—	0.028	—	-0.535	—	-0.052
	16)	姫島村の外(島外)への交通手段	0.484	-0.471	—	-0.168	0.274	-0.259	0.327	0.081
	21)	医療、高齢者福祉施設やサービス	—	0.334	—	0.170	—	-0.270	—	0.097
	22)	教育施設や教育環境	—	-0.151	—	-0.344	—	0.335	—	0.129
第5軸(コンパクト性)	15)	祭りや文化などの伝統の継承	—	0.702	—	-0.185	—	-0.289	—	-0.192
	3)	部屋の風通しや日当たり	0.817	-0.858	-0.132	0.055	-0.461	0.316	-0.151	0.182
	19)	郵便局や金融機関までの近さ、数	—	—	—	0.185	—	-0.656	—	-0.237
総合満足度	25)	姫島村に住むことの総合的な満足度	-0.236	—	0.230	—	0.309	—	0.262	—

強い相関あり $0.7 < |r| \leq 1.0$
 比較的強い相関あり $0.4 < |r| \leq 0.7$
 弱い相関あり $0.2 < |r| \leq 0.4$
 ほとんど相関なし $0.0 \leq |r| \leq 0.2$

施設利用距離と満足度の関係(住宅)

主成分分類	アンケート項目	知人宅利用距離		業務施設利用距離		公共施設利用距離		商業施設利用距離	
		主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関
第1軸(生活環境)	2) 家賃、価格、固定資産税など	0.083	0.160	0.048	0.000	0.307	0.173	0.101	0.209
	20) 職場までの近さ、数		0.278		0.144		0.219		0.121
	6) 周囲の静けさ		—		0.045		0.175		0.134
	14) 災害時の安全性		0.045		-0.274		0.183		0.180
	4) 公園や散歩コースの近さ、数		—		0.045		0.175		0.134
	10) 娯楽環境		-0.236		0.293		0.280		0.178
	12) 上下水道の整備状況		—		-0.079		0.107		0.105
	8) 町並み、家並み		0.481		-0.251		0.285		0.397
第2軸(空間)	11) 道路の安全性、整備状況		-0.858		0.007		0.153		0.241

知人宅の利用距離はコンパクト性の満足度に影響を及ぼす。
→知人宅への距離が長くても、コンパクト性の評価が高い。

第4軸(都市的生活志向)	18) 近さ、数	-0.484	0.563	-0.471	0.028	0.274	-0.535	0.327	-0.052
	23) 姫島村の外(島外)への交通手段(フェリー)		0.534		-0.168		-0.259		0.081
	21) 医療、高齢者福祉施設やサービスの充実		—		0.170		-0.270		0.097
第5軸(コンパクト性)	15) 祭りや文化などの伝統の継承	0.817		0.32	-0.344	-0.461	0.335	-0.151	0.129
	3) 部屋の風通しや日当たり		-0.185		-0.289		-0.192		
	19) 郵便局や金融機関までの近さ、数		0.055		0.316		0.182		
総合満足度	20) 総合的な満足度		-0.236		0.230		0.309		0.262

強い相関あり $0.7 < |r| \leq 1.0$
 比較的強い相関あり $0.4 < |r| \leq 0.7$
 弱い相関あり $0.2 < |r| \leq 0.4$
 ほとんど相関なし $0.0 \leq |r| \leq 0.2$

住宅(知人宅)



知人宅のように、寄り合って雑談を楽しむ場所があることが姫島村での生活満足度の一因となっていると考えられる。

施設利用距離と満足度の関係(業務施設)

主成分分類	アンケート項目	知人宅利用距離		業務施設利用距離		公共施設利用距離		商業施設利用距離	
		主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関
第1軸(生活環境)	2) 家賃、価格、固定資産税など	0.083	0.160	0.048	0.000	0.307	0.173	0.101	0.209
	20) 職場までの近さ、数		0.278		0.144		0.219		0.121
	6) 周囲の静けさ		—		0.045		0.175		0.134
	14) 災害時の安全性		0.045		-0.274		0.183		0.180
	4) 公園や散歩コースの近さ、数		—		0.045		0.175		0.134
	10) 娯楽環境		-0.236		0.293		0.280		0.178
	12) 上下水道の整備状況		—		-0.079		0.107		0.105
	8) 町並み、家並み		0.481		-0.251		0.285		0.397
第2軸(空間利用、基盤整備)	11) 道路の安全性、整備状況		-0.858		0.007		0.153		0.241
第3軸(人とのつながり)	13) インターネットなどの情報基盤整備	0.000	-0.303	0.000	0.026	0.000	0.164	0.172	0.226
	7) 地域内の連携、助け合い						0.000		0.243
	24) 姫島村外の他地域との交流						0.267		0.268
第4軸(都市的生活志向)	18) 買い物をする場所の近さ、数						-0.535		-0.052
	23) 姫島村の外(島外)への交通手段(フェリー)					0.274	-0.259	0.327	0.081
	21) 医療、高齢者福祉施設やサービスの充実						-0.270		0.097
	22) 教育施設や教育環境						0.335		0.129
	22) 教育施設や教育環境								
第5軸(コンパクト性)	15) 祭統の継承		0.702		0.100		-0.289		-0.192
	3) 部屋の風通しや日当たり	0.817	-0.858	-0.132	0.055	-0.461	0.316	-0.151	0.182
	19) 郵便局や金融機関までの近さ、数		—		0.185		-0.656		-0.237
総合満足度	25) 姫島村に住むことの総合的な満足度		-0.236		0.230		0.309		0.262

業務施設の利用距離は都市的生活志向の満足度に影響を及ぼす。

第4軸(都市的生活志向)

24) 姫島村外の他地域との交流

18) 買い物をする場所の近さ、数

23) 姫島村の外(島外)への交通手段(フェリー)

21) 医療、高齢者福祉施設やサービスの充実

22) 教育施設や教育環境

-0.471

強い相関あり 0.7 < |r| ≤ 1.0
 比較的強い相関あり 0.4 < |r| ≤ 0.7
 弱い相関あり 0.2 < |r| ≤ 0.4
 ほとんど相関なし 0.0 ≤ |r| ≤ 0.2



働く場所が近くにあることが、島内において都市的生活志向の満足度に寄与しているといえる。

施設利用距離と満足度の関係(公共施設)

主成分分類	アンケート項目	知人宅利用距離		業務施設利用距離		公共施設利用距離		商業施設利用距離	
		主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関
第1軸(生活環境)	2) 家賃、価格、固定資産税など	0.083	0.160	0.048	0.000	0.307	0.173	0.101	0.209
	20) 職場までの近さ、数		0.278		0.144		0.219		0.121
	6) 周囲の静けさ		—		0.045		0.175		0.134
	14) 災害時の安全性		0.045		-0.274		0.183		0.180
	4) 公園や散歩コースの近さ、数		—		0.045		0.175		0.134
	10) 娯楽環境		-0.236		0.293		0.280		0.178
	12) 上下水道の整備状況		—		-0.079		0.107		0.105
	8) 町並み、家並み		0.481		-0.251		0.285		0.397
第2軸(空間利用、基盤整備)	11) 道路の安全性、整備状況	0.202	-0.858	-0.207	0.007	0.077	0.153	0.236	0.241
	5) 建物の立て込み具合		0.292		-0.799		0.348		0.248
	1) 部屋の広さ、間取り		0.278		-0.048		0.299		0.334

公共施設の利用距離はコンパクト性の満足度に影響を及ぼす。

第4軸(都市的生活志向)	7) 合い	-0.484	0.566	-0.471	-0.452	0.274	0.000	0.327	0.243
	24) 姫島村外の他地域との交流		0.400		-0.320		0.267		0.268
	18) 買い物をする場所の近さ、数		0.563		0.028		-0.535		-0.052
	23) 姫島村の外(島外)への交通手段(フェリー)		0.534		-0.168		-0.259		0.081
	21) 医療、高齢者福祉施設やサービスの充実		—		0.170		-0.270		0.097

第5軸(コンパクト性)	15) 祭りや文化などの伝統の継承	第5軸(コンパクト性)	15) 祭りや文化などの伝統の継承	-0.461	-0.151	-0.192
	3) 部屋の風通しや日当たり		3) 部屋の風通しや日当たり			0.182
	19) 郵便局や金融機関までの近さ、数		19) 郵便局や金融機関までの近さ、数			-0.237

総合満足度	25) 姫島村に住むことの総合的な満足度	-0.236	0.230	0.309	0.262
-------	----------------------	--------	-------	-------	-------

強い相関あり $0.7 < |r| \leq 1.0$
 比較的強い相関あり $0.4 < |r| \leq 0.7$
 弱い相関あり $0.2 < |r| \leq 0.4$
 ほとんど相関なし $0.0 \leq |r| \leq 0.2$

公共施設(診療所)



公共施設への距離が短ければコンパクト性の評価が上がる。つまり、診療所等の公共施設は島民にとって近隣に立地することでコンパクト性の評価につながる。

施設利用距離と満足度の関係(商業施設)

主成分分類	アンケート項目		知人宅利用距離		業務施設利用距離		公共施設利用距離		商業施設利用距離			
			主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関	主成分得点との相	評価項目との相関		
第1軸(生活環境)	2)	家賃、価格、固定資産税など	0.083	0.160	0.048	0.000	0.307	0.173	0.101	0.209		
	20)	職場までの近さ、数		0.278						0.144	0.219	0.121
	6)	周囲の静けさ		—						0.045	0.175	0.134
	14)	災害時の安全性		0.045						-0.274	0.183	0.180
	4)	公園や散歩コースの近さ、数		—						0.045	0.175	0.134
第2軸(空間利用、基盤整備)	1)	部屋の広さ、間取り		0.278		-0.048		0.299		0.334		
	17)	公民館の利用		0.278		0.033		0.337		0.329		
第3軸(人とのつながり)	9)	水辺環境や緑の豊かさ	0.393	0.179	0.048	0.109	0.084	0.164	0.172	0.037		
	16)	村内の治安や風紀		0.253		0.138		0.063		-0.023		
	13)	ケーブルテレビなどの情報基盤整備		-0.303		0.026		0.164		0.226		
	7)	地域内の連携、助け合い		0.566								
第4軸(都市的生活志向)	24)	姫島村外の他地域との交流	-0.484	0.400	第4軸(都市的生活志向)	24)	姫島村外の他地域との交流	0.327				
	18)	買い物をする場所の近さ、数		0.563		18)					買い物をする場所の近さ、数	
	23)	姫島村の外(島外)への交通手段(フェリー)		0.534		23)					姫島村の外(島外)への交通手段(フェリー)	
	21)	医療、高齢者福祉施設やサービスの充実		—		21)					医療、高齢者福祉施設やサービスの充実	
	22)	教育施設や教育環境		-0.151		22)					教育施設や教育環境	
	15)	祭りや文化などの伝統の継承		0.702								
第5軸(コンパクト性)	3)	部屋の風通しや日当たり	0.817	-0.858	-0.132	0.055	-0.461	0.316	-0.151	0.182		
	19)	郵便局や金融機関までの近さ、数		—		0.185		-0.656		-0.237		
	25)	姫島村に住むことの総合的な満足度	-0.236		0.230		0.309		0.262			

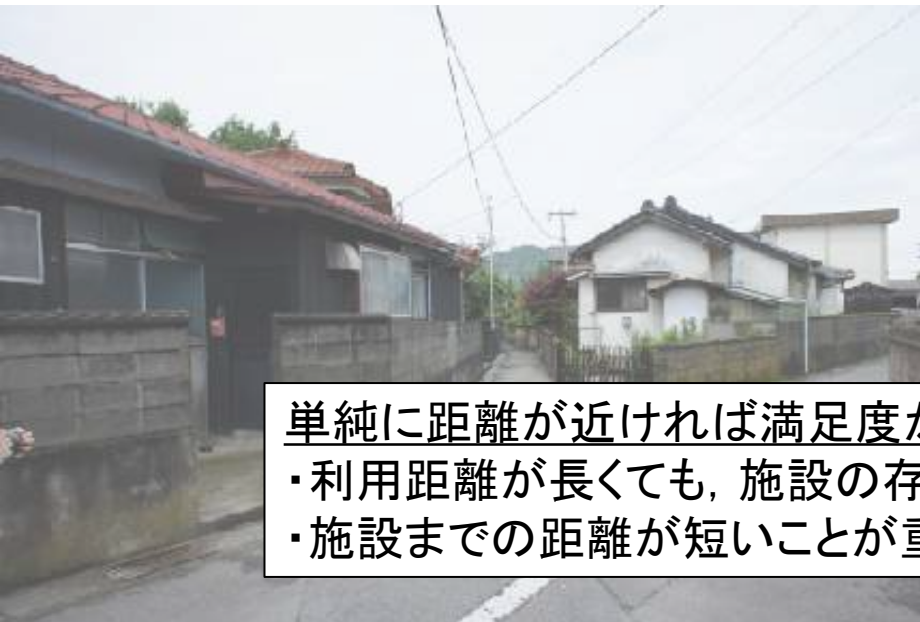
商業施設の利用距離は都市的生活志向の満足度に少なからず影響を及ぼす。

強い相関あり $0.7 < |r| \leq 1.0$
 比較的強い相関あり $0.4 < |r| \leq 0.7$
 弱い相関あり $0.2 < |r| \leq 0.4$
 ほとんど相関なし $0.0 \leq |r| \leq 0.2$

商業施設(商店)

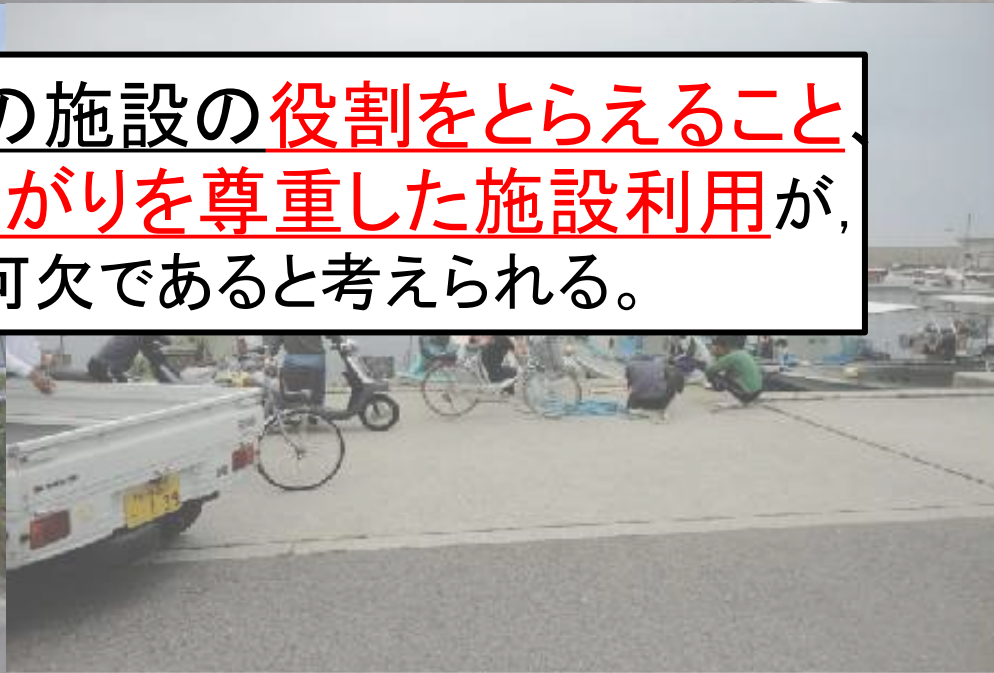
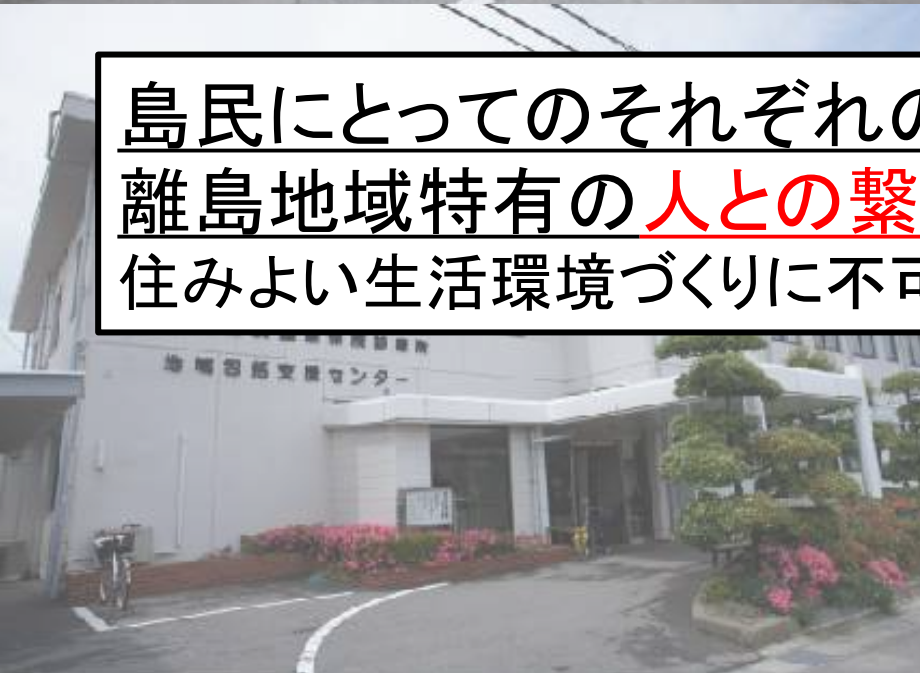


利用距離が長ければ都市的生活の評価が上がる。
利用の際に長距離を要しても、島内に商業施設があるかどうかということが重要であると考えられる。



- 単純に距離が近ければ満足度が高くなるのではない。
- ・利用距離が長くても、施設の存在が重要(知人宅, 商業施設)
 - ・施設までの距離が短いことが重要(業務施設, 公共施設)

島民にとってのそれぞれの施設の役割をとらえること、
離島地域特有の人との繋がりを尊重した施設利用が、
住みよい生活環境づくりに不可欠であると考えられる。



ご清聴ありがとうございました(*^^)v